

令和4年山武市教育委員会第8回定例会会議録

1. 日 時 令和4年8月18日（木）午後2時開催
2. 場 所 山武市役所新館3階第5会議室
3. 招集者 山武市教育委員会 教育長 内田淳一
4. 議 題

議決事項

- 議案第1号 市議会定例会提出議案（令和4年度山武市一般会計補正予算（第5号））に同意することについて

協議事項

- 協議第1号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

報告事項

- 報告第1号 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について
報告第2号 行事の共催・後援について
報告第3号 9月の行事予定について

出席委員	教育長	内田 淳一
	教育長職務代理者	今関 百合
	委員	木島 弘喜
	委員	北田 昭雄
	委員	鈴木 智子
	委員	相葉 英樹

出席した職員の職及び氏名

教育部長	今関 正典
教育総務課長	川島 美雄
子ども教育課長	中村 之彦
子ども教育課指導室長	加藤 直樹
施設整備課長	嘉瀬 多市
生涯学習課長	秋葉 正明
文化会館長	越川 信
図書館長	大石 由香
運動公園管理事務所長	小川 覚
子育て支援課長	岩澤 恵子

事務局

教育総務課副主幹	鵜澤 秀己
教育総務課総務企画係主事	市東 和洋
教育総務課総務企画係主事	豊田 真衣

◎開 会 午後2時00分

教育長 皆様、ご苦労さまでございます。コロナの感染症の状況がなかなか改善せずに、夏休み中も各学校から陽性者の報告が届いているというような状況です。

本日は、会議の後の予定も組まれていることでもありますので、いつもどおり効率よく会議を進めたいと思います。よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから令和4年山武市教育委員会会議第8回定例会を開会いたします。

◎日程第1 会議録署名人の指名

教育長 初めに、日程第1、会議録署名人の指名を行います。今回は北田委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。

北田委員 はい。

◎日程第2 会議録の承認

教育長 続いて、日程第2、会議録の承認です。

令和4年第7回定例会の会議録については、事前に配付してございますが、いかがでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

教育長 異議がないようですので、第7回定例会の会議録は承認いたします。

◎日程第3 教育長報告

教育長 それでは、日程第3、教育長報告でございます。

資料の1ページになります。主なもののみ説明をさせていただきます。

7月22日、成東高校の校長と教頭が来庁いたしました。千葉県教育委員会から、県立高校改革推進プラン・第1次実施プログラム(案)が7月に公表されまして、その中の成東高校の教員基礎コースというのを令和6年度から行うと、そういう説明がございました。今後も市内小中学校との連携を密にしていきたいということでもございました。

続いて7月25日です。新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席をいたしました。市の状況の確認と市民に対する注意喚起

について話し合いが持たれました。

続いて27日です。市のスポーツ推進委員審議会が開催されました。主に昨年度のスポーツ関連事業の報告と本年度の計画について話し合われました。

その中で、参加者から質問がございまして、新聞等で中学校の部活動について様々な報道がなされているけれども、市の状況はどうでしょうかという内容でございました。この市のスポーツ審議会の後に、部活動についての県の会議が開かれるということで、その動向も見極めながら、報道にあるように、令和7年度を目指して仕組みを整えているところでございますと、そういう趣旨の回答をさせていただきました。

そのほか、参加した会議等は資料のとおりでございます。

また、2ページには、教育委員会の事務局報告もあります。夏休みのイベント等について、資料のとおり開催されています。

以上でございます。

それでは、議事に入ります。

本日の議題ですが、議決事項として議案第1号の1件、協議事項として協議第1号の1件、報告事項として報告第1号から第3号の3件でございます。

そのうち議案第1号は、市議会定例会提出前であることから、また、協議第1号は、個人情報に係る内容であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたいのですが、いかがでしょうか。

賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

挙手全員。よって、議案第1号及び協議第1号は秘密会といたします。

◎日程第4 議決事項

○議案第1号

(議案第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長

それでは、日程第4、議決事項に入ります。

議案第1号、市議会定例会提出議案に同意することについてです。

ここから秘密会とします。

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

教育総務課長、お願いします。

※教育総務課長から、提案理由を説明。資料に基づき各課の長等から内容を説明

※審議結果 原案のとおり同意

◎日程第5 協議事項

○協議第1号

(協議第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

教育長

次に、日程第5、協議事項です。協議第1号、要保護及び準要保護児童生徒の認定について、事務局から説明をお願いいたします。

子ども教育課長、お願いします。

※子ども教育課長から、資料に基づき内容を説明

※審議結果 原案のとおり認定

ここで秘密会を解きます。

◎日程第6 報告事項

○報告第1号

教育長

次に、日程第6、報告事項です。報告第1号、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について、事務局から報告をお願いいたします。

子ども教育課指導室長、お願いします。

子ども教育課指導室長 それでは、報告第1号、令和4年度全国学力・学習状況調査の結果（山武市の概要）について、ご説明いたします。資料は別紙の1枚の資料になります。

まず、報告1の中段、表をご覧ください。前回との比較の部分で、教科で見ていきますと、小学校の国語以外は全国との差が広がったという結果になりました。ここには紙面の関係で掲載をしておりませんが、細かい分析について少し説明をさせていただきます。

全国との差が大きいというところについて説明をさせていただきます。まず、小学校の国語ですけれども、思考判断、表現を問う問題で低いという結果が出ました。ただ、漢字の使い方などの知識、理解分野については、全国平均よりも高いという結果が出

ましたので、一部うれしい結果もございました。

算数につきましては、割合の問題が特に低い結果となりました。

理科では、実験の結果を分析して自分の考えを記述するような問題が低く出てしまいました。

全教科通して、小学校は記述する分野での正答率の低さが全国平均との差が広がった要因と考えられます。

続きまして、中学校では、自分の考えを分かりやすく書くという問題の正答率がかなり低い結果になってしまいました。

数学では、回答について説明する分野での結果が低く、理科では、実験の結果を分析して自分の考えを記述する問題が低くなりました。小学校、中学校とも、以前から課題であった記述する分野で正答率が低かったため、全国平均との差が広がった結果となりました。

ただ、基礎、基本の領域については全国平均とほぼ同等の正答率となっておりますので、基礎、基本については、身につけてきている児童生徒が多いと考えていいと思われます。

次に、質問紙による調査について、ご説明をいたします。

別紙の2番以降になります。まず、朝食については、小中学校とも全国平均を下回っています。中学校については、昨年度の市の平均よりもかなり下回ってしまっているため、ここは家庭への啓蒙活動が必要と考えます。

(2)の自己肯定感については、昨年度より向上しています。ここは非常に大切な部分ですので、今後も自己肯定感を高めるための取組を継続していきたいと考えています。

(3)の学校に行くのは楽しいというところにつきましては、昨年度よりは向上しているんですけども、数値としては低い水準となっておりますので、もっともっと学校が楽しいと思える取組を強化していく必要があると考えます。

(4)、(5)を合わせて分析しますと、小中学校とも、学校以外の学習時間は全国平均より短く、ゲームや携帯等の使用時間は長いという結果でした。これはここ数年同じ結果となっております。家庭と連携を図りながら、ゲームや携帯等の使用時間を考え、家庭での学習を習慣化させていくことが必要であると考えています。

教育委員会では、家庭学習を習慣化させるために、3点の取組を継続しています。

1つ目は、家庭学習につきましては、担任や教化担任任せにす

るのではなく、校内で家庭学習検討委員会などをつくって、計画的、意図的に家庭学習を出していくという取組です。さらに、タブレットパソコンを家庭学習で積極的に活用する、その頻度を高めることで家庭学習への取組やすさを増して、習慣化につなげていきたいと考えています。

2つ目は、中学校で家庭学習のノートをつくり、ノートのつくり方についても統一をしていきます。また、定期的にそれを保護者に確認してもらおうということで、家庭を巻き込んだ体制をつくっていきたいと考えています。

3つ目は、小学校で家庭学習の時間を記録して、学校と家庭が子どもたちの家庭での学習時間を把握し、その結果を個人の支援に生かしていきたいと考えています。この取組を数年続けていくことで、児童生徒の生活習慣や学習習慣の改善に努めていければと、このように考えています。

最後に、学校の取組の傾向ですけれども、タブレットパソコンの使用頻度ですが、週1回以上使ったかという目安なので、教育委員会としては、中学校のように100%にしていきたいと考えています。

また、地域や保護者の方の学校への支援については、コロナ禍のためやりたくてもできない状況になっていますが、その中でも可能なことを見つけて、地域と学校の連携を高めていけるように支援していきたいと考えています。

他の箇所については、各自お読みいただければと思います。
以上です。

教育長 それでは、全国学力・学習状況調査の結果について報告がございましたが、委員の皆様から何かございますか。

木島委員 はい。

教育長 木島委員、お願いします。

木島委員 各現場の先生方、非常に頑張ってくれていると思っています。そういう中で上がらない、各小学校別、中学校別にも数字的なものは出ているんですよ、そういった中で、この学校は結構いいじゃんなんていう学校も当然あると思うんですけれども、そういった学校の取組みたいなものを、山武市全体として捉えて、こう

いう勉強の仕方、だから、学力も高いなというのがあると思うんですね。教科別にも現れてきていると思いますけれども。

そういったものをもっと、市全体の学校、現場サイドで共有する、あるいはそういったものを、先生方に来てもらって、勉強会みたいなものを実施していくような形で、いいものをどんどん伸ばしていただきたいと思います。

そのために、一生懸命頑張っている学校や先生方がいらっしやると思います。そういった学校なり先生方のノウハウを全部に広げていくような仕組みづくりをぜひつくって、構築していただけたらなど、私の個人的な意見ですけれども、その辺のところも検討していただきたいなと思いました。

以上です。

教育長 そのほかございますか。

北田委員 はい。

教育長 北田委員、お願いします。

北田委員 調査について、本当にありがとうございました。今の結果の詳細な分析がありましたけれども、2点私も申し上げたいと思います。

1点は、具体的には、今年度から指導室内に立ち上げた学校支援センターというのがありますよね。室長がトップにおりますけれども、ですから、今の分析の結果もそうだったと思いますが、支援センターの組織を活用しての調査研究といいますか、支援センターの主な事業が幾つか挙げられているんですが、その1番に学力向上に関する調査研究というが挙げられていますよね。ですから、そこでの調査研究の成果を、木島委員とダブるところもあるんですが、活用して、各学校での取組にぜひつなげてもらいたいと思います。

要は、もちろん、この結果について一喜一憂もあるんですけれども、それよりも、この全国の学力状況調査の結果をどう今後各学校の取組に活用していくか、幸い千葉県には基本的な取組テストというものが、県の標準学力テストがありますよね。各学年で、これは小学校6年生と中学校3年生ですが、結局、ここまでに各学年の段階というのがあると思います。それらを十分、組織を活

用して取り組んでいただきたいと思います。

それから、2点目は、学力向上のための支援策の充実の継続ということです。これは引き続き、予算も関係することなんですけれども、ぜひお願いしたいと思います。山武市内に小中学校、全部で15校ありますが、教育目標、あるいは各学校の経営の重点に必ず学力向上というのは挙げてあると思うんです。

ですから、その達成のために必要なことは何かと考えたら、私は、一つは人材の確保だと思います。

職員以外に、例えば、今、山武市で支援してもらっている学習支援員だとか、いわゆる市単独の事業ですね、配置だとか、それから、GAAの支援員ですとか、等々、人材の確保には、いろいろなことが考えられると思いますので、これから新年度の予算要求の段階で、学校等の要望をぜひ踏まえて、次年度に向けて取組をお願いしたいというところです。

それから、もう一つ。児童・生徒質問紙の家庭生活の傾向で、朝食を毎日食べるという調査があるけれども、これが中学校のほうで低いというような報告がありました。確かに県のほうでも、県の教育委員会で学力と朝食の関係ということで調査結果があったと思います。そこでは朝食をきちんと食べている児童・生徒のほうは学力が向上しているというような結果が出ています。朝食を食べているから学力がついていることじゃなくて、朝食を食べることによって脳が活性化したり、活動だとか行動に、脳が活性化するというような因果関係もあるようなことも聞いています。例えば栄養教育、栄養士なんかの勉強で、そういった食育なんかも考えることができる、可能じゃないかと思います。できる範囲で、また取り組んでいただきたいと思います。

長くなりました。以上です。

教育長

何かありますか。

指導室長、お願いします。

子ども教育課指導室長

では、今いただきましたご意見を基に、取組をさらに強化していきたいと思います。ここ数年の結果で、基礎、基本の部分が、大分全国に近づいてきた、超えてきたということで、ようやく土台が整ってきたかなと思いますので、ここから、さらに子どもたちの力を伸ばしていけるように、今、委員の皆さんからお伺いしたようなことを参考にしながら取り組んでいきたいと考えて

います。

教育長 いいですか。それでは、よろしいでしょうか。

北田委員 はい。

教育長 北田委員。

北田委員 今回の室長の発言の中にあっただけですけども、基礎、基本が身についているというような発言がありましたが、学校を訪問したときに、先指導のこととも関連するんですが、要するに、きめ細かな指導だとか、あるいはTTだとか、それから、そういった面がすごく充実しているように見受けられます。ですから、その辺の成果が着実に室長の発言のようなことに結びついているんじゃないかなど、感じたものですから、発言させてもらいました。
以上です。

教育長 それでは、先に進めます。

○報告第2号

教育長 報告第2号、行事の共催・後援について、事務局から報告をお願いします。
教育総務課長、お願いします。

教育総務課長 資料4ページをご覧ください。7月に許可をいたしました行事の共催はございませんでした。後援は、ここに記載の1件でございます。また、申請書等関係書類は5ページ以降に添付させていただきました。
報告は以上となります。

教育長 はい。

○報告第3号

教育長 続いて、報告第3号、9月の行事予定についてでございますが、こちらについては、事前に資料をご確認いただいていると思います。資料のとおりでございます。
そのほか、報告すべき事項等はございますでしょうか。

教育長

それでは、以上で令和4年山武市教育委員会会議第8回定例会を終了といたします。お疲れさまでした。

◎閉 会 午後2時45分